



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日
上場取引所 東

上場会社名 富士古河E&C株式会社
コード番号 1775 URL <http://www.ffec.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎井 文一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 明石 亨 (TEL) 044-548-4500
四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|------|------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第3四半期 | 40,525 | 1.4 | 701 | 52.5 | 859 | 42.9 | 541 | 87.5 |
| 25年3月期第3四半期 | 39,978 | 15.7 | 459 | — | 601 | — | 288 | — |

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 776百万円(82.5%) 25年3月期第3四半期 425百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | |
|-------------|-----------------|----|----------------------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 26年3月期第3四半期 | 12 | 03 | — | — |
| 25年3月期第3四半期 | 6 | 42 | — | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|--------|---|--------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第3四半期 | 34,521 | — | 11,493 | — | 31.4 | — |
| 25年3月期 | 36,192 | — | 10,941 | — | 28.9 | — |

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 10,855百万円 25年3月期 10,445百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | |
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 25年3月期 | — | 0.00 | — | 5.00 | 5.00 | — |
| 26年3月期 | — | 0.00 | — | — | — | — |
| 26年3月期(予想) | — | — | — | 5.00 | 5.00 | — |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|------|----------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 通期 | 66,000 | 2.7 | 2,000 | 5.6 | 2,150 | 2.5 | 1,250 | 10.1 | 27 | 79 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 26年3月期3Q | 45,132,809株 | 25年3月期 | 45,132,809株 |
| 26年3月期3Q | 151,135株 | 25年3月期 | 149,075株 |
| 26年3月期3Q | 44,982,928株 | 25年3月期3Q | 44,984,737株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| 4. 補足情報 | 9 |
| (セグメント別受注高・売上高・営業損益・受注残高) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 3 四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による金融政策や経済政策の効果等により、円安、株価上昇が進み、企業業績の改善や個人消費が持ち直すなど、景気は緩やかな回復が見られました。当社グループの属する設備工事業界におきましては、オリンピック・パラリンピックの2020年東京開催の決定や公共投資の堅調な推移、国内民間設備投資の持ち直しの動きなど明るい材料がある一方で、依然熾烈な受注価格競争が続き、加えて人手不足および労務費や資機材の高騰等により厳しい環境で推移しました。

当第 3 四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高492億円（前年同期比3.4%増）、売上高405億円（前年同期比1.4%増）、営業利益7億1百万円（前年同期比52.5%増）、経常利益8億59百万円（前年同期比42.9%増）、四半期純利益5億41百万円（前年同期比87.5%増）となり、当初の予定通り推移しております。

当社グループは平成25年4月に発表しました中期経営計画（『アクセル E & C 2015』）に基づき、「進化」と「変革」に向けた事業構造の転換および経営基盤の一層の強化を目指して、太陽光発電事業を始めとした再生可能エネルギー事業や I T F E 事業の拡大、タイにおいて空調設備事業の本格展開に着手するとともに平成25年9月にはインドネシアに現地法人を設立するなど海外事業の強化に取り組んでまいりました。また、コストダウンの一層の推進による収益力の向上、被災地に貢献するべく地域に密着した復興支援活動等に引き続き注力してまいりました。

セグメント別の状況につきましては、次のとおりであります。

[建築・建築付帯設備]

当セグメントにおける受注高は86億円（前年同期比1.4%増）、売上高は69億円（前年同期比15.1%減）、営業利益は3億53百万円（前年同期比41.9%減）となりました。

電気分野では、受注高は前期には大型の製造事業所案件等がありましたが、公共案件等が堅調に推移したことから、ほぼ前期並みとなりました。売上高は前期には大型の製造事業所案件等があったことから減少し、営業損益も悪化しました。

建築・土木分野では、受注高・売上高・営業損益ともにほぼ前期並みとなりました。

[空調設備]

当セグメントにおける受注高は135億円（前年同期比22.2%増）、売上高は101億円（前年同期比13.9%減）、営業利益は2億95百万円（前年同期比143.4%増）となりました。

受注高は一般空調・衛生分野では中小規模の更新工事案件が伸長し、産業プロセス空調分野では新基盤事業である I T F E 案件や製造事業所案件等が伸長したことにより大幅に増加しました。

売上高は一般空調・衛生分野では製造事業所の新築案件および商業施設の更新工事案件等があったことから増加しましたが、産業プロセス空調分野では前期に大型案件があったことから減少しました。

営業損益は前期には大型の不採算案件があったことから改善しました。

[プラント設備]

当セグメントにおける受注高は228億円（前年同期比2.8%減）、売上高は208億円（前年同期比23.6%増）、営業利益は12億4百万円（前年同期比42.9%増）となりました。

社会システム分野では、主力である上下水道工事において新規案件が減少する中、更新工事の取り込みにより受注高・売上高ともに増加し、営業損益も改善しました。

エネルギーシステム分野では、太陽光発電や小水力発電、風力発電等の再生可能エネルギー関連工事があったことから受注高・売上高ともに大幅に増加し、営業損益も改善しました。

産業システム分野では、受注高は前期にはタイにおける鉄鋼関連をはじめとした大型案件等があったことから大幅に減少しました。売上高はカンボジア・ベトナムなど海外子会社が堅調に推移したことにより増加し、営業損益も改善しました。

[情報通信設備]

当セグメントにおいては、情報通信市場の価格競争の激化が依然続いており、受注高は22億円（前年同期比29.8%減）、売上高は14億円（前年同期比23.0%減）、営業損失は3億13百万円（前年同期は1億15百万円の営業損失）となりました。

市場環境の厳しさを踏まえて、採算性を重視したエリア戦略や固定費の圧縮等の事業構造改革に取り組んでまいります。

[その他]

当セグメントにおける受注高は19億円（前年同期比51.8%増）、売上高は11億円（前年同期比10.6%減）、営業利益は2億49百万円（前年同期比17.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ16億70百万円減少し、345億21百万円となりました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金等の減少（75億25百万円）、未成工事支出金の増加（46億90百万円）、現金預金の増加（4億75百万円）、流動資産のその他に含まれる預け金の増加（2億42百万円）であります。

負債は、230億28百万円となり、22億22百万円減少しました。主な要因は、支払手形・工事未払金等の減少（27億82百万円）、その他に含まれる未払費用の減少（2億99百万円）、負ののれんの減少（1億35百万円）、未成工事受入金金の増加（10億63百万円）であります。

純資産は、四半期純利益（5億41百万円）の計上を主因として5億51百万円増加し、114億93百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年4月24日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年 3 月31日) | 当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|----------------|---------------------------|---------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金預金 | 2,089 | 2,565 |
| 受取手形・完成工事未収入金等 | 25,742 | 18,216 |
| 未成工事支出金 | 2,546 | 7,236 |
| 材料貯蔵品 | 159 | 200 |
| その他 | 1,796 | 2,310 |
| 貸倒引当金 | △31 | △25 |
| 流動資産合計 | 32,303 | 30,504 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 1,292 | 1,289 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 202 | 148 |
| 無形固定資産合計 | 202 | 148 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 2,469 | 2,648 |
| 貸倒引当金 | △75 | △69 |
| 投資その他の資産合計 | 2,394 | 2,579 |
| 固定資産合計 | 3,889 | 4,017 |
| 資産合計 | 36,192 | 34,521 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形・工事未払金等 | 17,194 | 14,411 |
| 短期借入金 | 22 | 254 |
| 未払法人税等 | 600 | 167 |
| 未成工事受入金 | 1,635 | 2,699 |
| 完成工事補償引当金 | 65 | 73 |
| 工事損失引当金 | 197 | 418 |
| その他 | 1,855 | 1,530 |
| 流動負債合計 | 21,571 | 19,555 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 2,982 | 2,924 |
| 負ののれん | 271 | 135 |
| その他 | 425 | 412 |
| 固定負債合計 | 3,679 | 3,473 |
| 負債合計 | 25,250 | 23,028 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年 3 月31日) | 当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|---------------|---------------------------|---------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,970 | 1,970 |
| 資本剰余金 | 6,703 | 6,703 |
| 利益剰余金 | 1,952 | 2,264 |
| 自己株式 | △23 | △24 |
| 株主資本合計 | 10,601 | 10,913 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 17 | 57 |
| 為替換算調整勘定 | △174 | △115 |
| その他の包括利益累計額合計 | △156 | △57 |
| 少数株主持分 | 496 | 637 |
| 純資産合計 | 10,941 | 11,493 |
| 負債純資産合計 | 36,192 | 34,521 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日) | 当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 39,978 | 40,525 |
| 売上原価 | 34,904 | 35,168 |
| 売上総利益 | 5,074 | 5,357 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,614 | 4,656 |
| 営業利益 | 459 | 701 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 14 | 6 |
| 受取配当金 | 12 | 21 |
| 為替差益 | 3 | — |
| 負ののれん償却額 | 135 | 135 |
| その他 | 18 | 22 |
| 営業外収益合計 | 185 | 186 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 11 | 9 |
| コミットメントフィー | 8 | 8 |
| 為替差損 | — | 1 |
| ゴルフ会員権評価損 | 14 | — |
| その他 | 9 | 9 |
| 営業外費用合計 | 44 | 28 |
| 経常利益 | 601 | 859 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 68 | — |
| 特別損失合計 | 68 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 532 | 859 |
| 法人税等 | 163 | 223 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 368 | 635 |
| 少数株主利益 | 80 | 94 |
| 四半期純利益 | 288 | 541 |

四半期連結包括利益計算書
第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日) | 当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 368 | 635 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 7 | 39 |
| 為替換算調整勘定 | 48 | 101 |
| その他の包括利益合計 | 56 | 140 |
| 四半期包括利益 | 425 | 776 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 321 | 639 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 103 | 136 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|---------------|--------|------------|------------|--------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 建築・建築 付帯設備 | 空調設備 | プラント 設備 | 情報通信 設備 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,129 | 11,754 | 16,892 | 1,889 | 38,666 | 1,312 | 39,978 | — | 39,978 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | 4 | — | 4 | — | 4 | △4 | — |
| 計 | 8,129 | 11,754 | 16,896 | 1,889 | 38,670 | 1,312 | 39,983 | △4 | 39,978 |
| セグメント 利益又は損失(△) | 607 | 121 | 843 | △115 | 1,456 | 212 | 1,668 | △1,208 | 459 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品販売及び補修・修理等のサービス部門を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,208百万円は、主に全社共通部門にかかる費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|---------------|--------|------------|------------|--------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 建築・建築 付帯設備 | 空調設備 | プラント 設備 | 情報通信 設備 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,905 | 10,120 | 20,870 | 1,454 | 39,351 | 1,173 | 40,525 | — | 40,525 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | 3 | — | 3 | — | 3 | △3 | — |
| 計 | 6,905 | 10,120 | 20,874 | 1,454 | 39,355 | 1,173 | 40,528 | △3 | 40,525 |
| セグメント 利益又は損失(△) | 353 | 295 | 1,204 | △313 | 1,539 | 249 | 1,788 | △1,087 | 701 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品販売及び補修・修理等のサービス部門を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,087百万円は、主に全社共通部門にかかる費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

